

4. 出前講座事業

事業名	実施日	講師等	参加人数
デートDVについて考えるワーク	10月26日	LAP いばらき	160人
思春期を迎える子どもたちに知っておいてほしいことについて	12月23日	WAM職員・保健医療課職員	75人
デートDVについて考えるワーク	1月8日	LAP いばらき	160人

令和2年(2020年)度事業実績

事業名	出前講座		
目的	男女共同参画社会実現のため、男女共同参画や女性の活躍、DV・デートDV防止などに関する現状や取り組みについて、地域や学校等に出向き、出前講座を行う。		
内容	実施日時・場所	詳細	講師名
	令和2年10月26日(月) 27日(火) 市内高等学校教室	【内容】 デートDVについて考えるワーク 【対象】高校生 40人×4クラス 160人	LAP いばらき
	令和2年12月23日(水) 市内小学校教室	【内容】 思春期を迎える子どもたちに知っておいてほしいことについて ・思春期のからだところの成長 ・付き合うということ など 【対象】 小学6年生 35人 ・ 5年生 40人	ローズWAM職員 保健医療課職員
	令和3年1月8日(金) 市内中学校体育館	【内容】 デートDVについて考えるワーク 【対象】 中学3年生 160人	LAP いばらき
評価と今後の改善点	今年度は新型コロナウイルス感染対策で、出前で学校等に出向くというスタイルが困難な状況ではあったが、コロナ禍で若年層での望まない妊娠に関する相談が増加したというような状況もあり、各学校でのコロナ禍での課題意識からの依頼もあった。学んでもらいたい対象がいる地域や学校へ直接出向く形で行う出前講座は有効であると考えられるため、今後も継続していきたい。また、内容についても、多様なニーズにこたえられるよう、研修や勉強会を開催して、関係機関と連携しながら充実させていきたい。		

5. 市民活動支援・交流事業

事業名	実施日	講師等	参加人数
第21回ローズWAMまつり			
発表・ワークショップ・展示など	2月6日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
WAMジョインと企画			
【オンライン】 子どもと一緒にサバイバル！（おとな向け編） 世の中をたくましく生き抜こう！	12月9日 12月16日 12月20日	企画：エンパワメントいばらき ※12月20日開催予定分は新型コロナ ウイルス感染防止のため中止	40人
シルバー食堂	12月19日 1月16日 2月20日	企画：茨木おやじの会 ※3回とも、新型コロナウイルス感染 防止のため中止	—
WAMチャレンジ企画			
強み発見講座	1月21日	企画：いのち一む	8人
【オンライン】 男女共同参画社会基本法の20年 ～ジェンダーで生きる、今から～	3月17日	企画：オーク15	35人
WAMcafe企画			
茨木市まちづくりと男女がともに暮らしやすい 社会に	7月11日 8月22日	企画：茨木まちづくりの会	12人
音の森カフェ ～いつも心に音楽を～	9月23日	企画：音の森	11人
フードパントリー茨木	11月～ 3月	企画：フードパントリー茨木	50人
MINT(ミント)	11月～ 3月	企画：NPO法人わんだーらんど	108人
パソコン・スマホおはなしカフェ	2月22日 3月15日	企画：パソコンサポートinfeel	16人
ピーチクパーチク話しませんcafé	3月5日	企画：NPO法人わんだーらんど	1人
たそがれコンサート			
	4月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
	5月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
	6月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
	7月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
フルーツ四重奏	8月22日	フルーツアンサンブル「パステル」	12人
	9月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
	10月	空調・照明設備改修工事のため中止	
フルーツ演奏	11月8日	朝日 嗣雄	36人
ゴスペル	11月22日	The☆Oya-Co	50人
vocal & piano unit	12月6日	Mere(メール)	21人
フォークソング	12月12日	茨木童子	8人
ハンドベル	12月19日	ハンドベルアンサンブル「星の雫」	20人
ピアノ演奏	1月16日	三品拓人・船阪駿瑛	18人
	2月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
大正琴演奏	3月27日	ひびきの会	31人
ローズWAM事業運営協議会定例会	隔月	—	—
男女共生センター登録団体連絡会	毎月	—	—



令和2年(2020年)度事業実績

事業名	第21回ローズWAMまつり										
目的	男女共同参画社会の実現のための拠点施設として、ローズWAM事業および男女共同参画への理解を促進する目的で、実行委員会形式でまつりを企画し開催する。										
テーマ	かわったこと かわらなかったこと かえていくこと										
まつり実行委員会											
	開催日	開催内容	実行委員(人)			事務局(人)			計(人)		
			女性	男性	その他	女性	男性	その他	女性	男性	その他
第1回	6月15日(月) 午後3時～	・実行委員会規約の承認	14	1	0	7	2	0	21	3	0
第2回	7月20日(月) 午後3時～	・役員選出 ・講演会開催決定	10	1	0	7	2	0	17	3	0
第3回	中止		/	/	/	/	/	/	/	/	/
第4回	9月28日(月) 午後2時～	・講演会講師候補者決定 ・テーマの決定	11	1	0	8	2	0	19	3	0
第5回	11月13日(金) 午後2時～	・講演会講師の決定 ・オンライン配信について	9	1	0	7	2	0	16	3	0
第6回	中止		/	/	/	/	/	/	/	/	/
第7回	1月18日(月) 午後4時～	・講演会中止の決定	7	1	0	6	1	0	13	2	0
反省会	3月15日(月) 午後3時～	・会計報告 ・振返りと次回に向けて	8	1	0	5	1	0	13	2	0
合計			59	6	0	40	10	0	99	16	0
内容	日時・場所	詳細	講師名		チラシ						
	令和3年2月6日(土) 午後2:00～3:30 ワムホール	<p>≪開催中止≫</p> <p>講演会</p> <p>かわったこと かわらなかったこと かえていくこと ～「たにんごと」と「じぶんごと」～</p>	弁護士 仲岡しゅんさん								
評価と今後の改善点	<p>コロナ禍で、まつりを開催するか、どのような催しができるのかなど、例年と違うまつり実行委員会の会議の内容となった。講演会をみの開催で進めていたが、緊急事態宣言中であり、運営側と参加者側の安全を考え、残念ながら、中止となった。この機会に、まつりのあり方を検討したい。</p>										

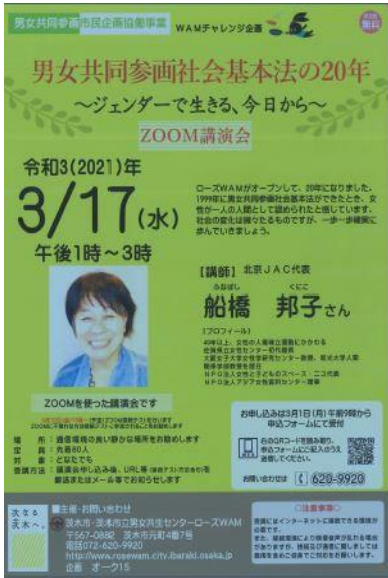
令和2（2020）年度 事業実績

事業名	男女共同参画市民企画協働事業 / WAMジョインと企画 ★			
エンパワメントいばらき	子どもと一緒にサバイバル！（おとな向け編） 世の中をたくましく生き抜こう！			
目的	男女平等の視点に立った子ども・子育て支援			
開催日時	参加人数	部屋	内容	
12月9日（水）	午前10:00 ～ 正 午	女性21人	ZOOM オンライン 講座	講師：金 香百合さん 親子でたくましく生き抜くために 自尊感情や多様性を学び、パワーを養う こどもが暴力から身を守るプログラム 「わたしのからだはわたしのものよ」 ～大人のための公開授業～
12月16日（水）		女性19人		
12月20日（日）		大阪府の レッドステージ 表明で中止判断	501・502	
参加者感想	<ul style="list-style-type: none"> * アニメ「鬼滅の刃」朝ドラ「おちょやん」から、女性の自殺急増や引きこもり等、幅広い話題で、女性や弱者が抑圧される状況が社会的な問題だと判った。 * 心に残ったワードは「受援力」「自己選択・自己決定」 * 私も「ユニークでスペシャルな存在」と思えた。 			
企画者評価 今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> * 子どもと一緒にたくましく生き抜き、かつ男女平等社会を築くために女性が情報難民になってはいけない。 * 今がオンライン講座に着手するチャンスと立案したところ、講師の金さんが「デジタル・リテラシーは重要」と評価くださり、初の試みに応じて改善を重ねてくださった。どの参加者・会員からも「大変良かった。」「エンパワーされた。」と高い評価を得た。 			

茨木おやじの会	シルバー食堂			
目的	* 料理の講習と同時に参加者同士で「男女共同参画」目的・活用法を理解していく。定年・退職後の男性の家庭内での役割分担等を男女がお互いに意見を出し合い、学び、交流を進めていく。			
開催日時	参加人数	部屋	内容	
12月19日（土）	午前10:00 ～ 午後2:00	大阪府の 緊急事態宣言 により中止判断	料理工房	* ワークショップと料理を兼ねて行う。 60歳以上の男女が『共同で料理を創る』と同時に交流をはかり、お互いの長所を出し合って学び、日々の生き方に活用する。 * 「ローズWAMの活動」新しい案が出れば最高だが・・・
1月16日（土）				
2月20日（土）				
参加者感想				
企画者評価 今後の課題				

事業名	男女共同参画市民企画協働事業／WAMチャレンジ企画 【企画団体：いのち一む】 強み発見講座～40代からのセルフコーチングでもっと自分を好きになる！～				
目的	男女共同参画の視点で社会や地域の問題解決を図る取り組みを行う市民団体または個人の企画を応援し、市民と協働した男女共同参画の推進を図ることを目的とする。				
対象	35歳以上の女性				
受講定員	16人	申込数	9人	当日数	8人
保育定員	5人	申込数	3人	当日数	3人
充足率	50%	受講者満足度	100%	新規受講者率	0%
内容	実施日時・場所	詳細		講師名	
	令和3年1月21日(木) 午後1:00～3:00 404・405	グループワークを中心に、傾聴・承認・質問などのコーチングスキルを身につけ、自身で考え、解決策を見出し、目標を達成できることを学んだ。		(一社)マザーズスマイルアンバサダー協会認定アンバサダー 山崎 亜矢さん 小山田 恵さん	
アンケート結果	回収数	7 枚			
	【感想】①大変よかった 5人、②よかった 2人、③普通 0人、④あまりよくなかった 0人、⑤無回答 0人 【年代】30代～40代 【意見】 ・人それぞれ価値観が違うことが、改めてわかりました。 ・こんな状況で久々に講座に参加できてよかったです。人と対面して話すのが楽しかったです。 ・久しぶりにお話を聴いて頂ける時間を過ごせて、とてもスッキリしました。 ・コロナ禍の中、みなさんとお話し出来る機会を与えてくださってありがとうございました。 ・これを機に自分を見つめ直せたらと思いました。色々な方のお話を聞いて楽しかったです。 ・単発でなく、複数回あるとおもしろいと思いました。				
講座様子・ちらし	  				
評価と今後の改善点	受講者の満足度が高く、成果があった。子育て中の参加者が多く、子育てについての悩みが多く見受けられた。コロナ禍で参加者数が少なかったが、平常時であれば、多くの参加者数が期待できる企画内容であった。				

令和2年(2020年)度事業実績

事業名	男女共同参画市民企画協働事業/WAMチャレンジ企画 【企画団体：オーク15】 「Zoom 講演会」男女共同参画社会基本法の20年～ジェンダーで生きる、今日から～				
目的	男女共同参画の視点で社会や地域の問題解決を図る取り組みを行う市民団体または個人の企画を応援し、市民と協働した男女共同参画の推進を図ることを目的とする。				
対象	どなたでも				
受講定員	80人	申込数	49人	当日数	35人
充足率	44%	受講者満足度	81%	新規受講者率	24%
内容	実施日時・場所	詳細		講師名	
	令和3年3月17日(水) 午後1:00～3:00 Zoomにて	Zoom講演会 講師が自宅から、パワーポイント資料を用い、講演した。質疑応答は、チャットなどを用いて、行なった。		北京JAC代表 船橋邦子さん	
アンケート結果	回収数	21 枚			
		<p>【感想】①大変よかった 11人、②よかった 6人、③普通 3人、④あまりよくなかった 0人、⑤無回答 1人</p> <p>【年代】20代～80代</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久しぶりに船橋邦子さんのお話をお聞きし、変わらぬパワーに勇気づけられました。国の計画の変遷解説はポイント整理されていて、よくわかりました。ありがとうございました。 ・住んでいる自治体の計画の進捗や今、どうなっているのか調べます。諸政策に参画している女性たちに学んでほしいと思います。ありがとうございました。 ・20年を経ても余り良くなっていないことが多く残念な気持ちですが、これが日本女性の現状かと感じます。この講演で其々の基本計画の中にそれを作った人達の作為があること、単に字面を読むだけではなく深くその背景も読み込まねばならないことを知りました。ありがとうございました。 			
講演会 ちらし					
評価と今後の改善点	受講者の満足度が高く、成果があった。コロナ禍でZoom講演会となり、新しい開催方法に苦慮した。男女共同参画社会基本法施行の翌年、ローズWAMが開所し、この法律の内容を改めて知る機会になった。今回のZoom講演会はZoomに慣れる良い機会となり、今後の有益な開催方法の一つとなった。				



令和2（2020）年度 事業実績

事業名		喫茶スペース「WAMcafe」企画			
1	茨木まちづくりの会	茨木市まちづくりと男女がともに暮らしやすい社会に ラウンドテーブル形式のフリートーク			
	目的	社会における意思決定への女性の参画拡大			
	開催日時	参加人数	内 容		
	7月11日（土）	午後1:30	6人	井戸端会議形式のワークショップで「男女共同参画」を考え、これからのまちづくりに活かせるような活動の大切さを話し合い	
	8月22日（土）	～ 3:30			
	参加者感想	* テーブルを囲んでお茶を飲みながらザックバランに発言できた。わいわいと前向きな話をできた。			
企画者評価 今後の課題	* 無責任な発言があるかもしれないと心配していたが、みなさんが場に応じた話をして、よかった。 * 今後も、このような場は必要であると思うので、続けたい。				
音の森		音の森カフェ～いつも心に音楽を～			
2	目的	* 思いがけないコロナの影響で、価値観や常識がガラッとかわり、こころにしんどさを抱える方が増えているのではないかと思い、老若男女関係なく、だれもが気軽にのびやかに健やかに過ごせる環境づくりを目的としている。			
	開催日時	参加人数	内 容		
	9月23日（水）	午後1:30 ～ 3:00	11人	ピアノの生演奏を聴きながら過ごす居場所	
	参加者感想	手の消毒や検温、マスクなど、感染予防対策を取りながら、90分ゆったりとした時間を過ごしていただいた。家にずっと閉じこもっている生活が続いているなかで「楽しかった。癒された」との感想をいただいた。			
	企画者評価 今後の課題	コロナ禍で、安全な開催は可能なのかと心配しながら、予約制での開催とした。予約制は、「気軽に」というスタイルとはかけ離れているので、感染予防対策をしながらも「気軽に」来れる環境を考えていきたい。			
フードパントリー茨木		フードパントリー茨木			
3	目的	生活環境の改善支援と顔の見える関係性の構築を目的に、ひとり親家庭などを含む貧困家庭に向けての食材の無償提供を行う。			
	開催日時	参加人数	内 容		
	11月～3月 第2・3日曜	午前9:00 ～12:00	10人前後	第2日曜日に家庭等で余っている食材を協力していただける方から回収し、第3日曜日に必要とする家庭に配布する。。	
	参加者感想	受け取り側からはとても助かるとの声を多数いただいた。提供側も、毎回受け取る相手を想像しながらもって来てくださる方も多く、「このような形で社会的に支援できることがうれしい」とおっしゃる方も多い。			
	企画者評価 今後の課題	受け取る側の方が、物品の仕分けなど活動の手伝いを担ってくださるようなケースあり、食材等の提供を通して顔の見える関係が構築できた家庭もあった。提供を希望される家庭の数が、やるごとに増加し、事業のニーズの高さを実感している。			

令和2（2020）年度 事業実績

事業名		喫茶スペース「WAMcafe」企画			
4	NPO法人 わんだーらんど	MINT（ミント） ～こどもたちの育ちに寄り添う居場所～			
	目的	放課後ひとりで過ごすこの多いの居場所の提供及びこども食堂の開催を通し、ひとり親等家庭の支援を目的とする。			
	開催日時	参加人数	内 容		
	11月～3月 第2/3/4水曜	午後2:00 ～7:00	各回 2人から15人 (入替で)	放課後ひとりで過ごすことの多い小学生の居場所と食事の提供。こども食堂の運営。	
	参加者感想	放課後ひとりで過ごす子どもの居場所については、大学生ボランティアと話す姿は微笑ましい。また、食事のみの参加も可としているので、保護者からは助かるとの声をいただいている。			
	企画者評価 今後の課題	学習支援スタッフとして塾講師の方に来ていただき、充実を図ることができた。また、大学生からもボランティアの申し出があり、助かっている。限られたスペースと限られたスタッフでの活動が課題である。			
5	パソコンサポートinfeel	パソコン・スマホおはなしカフェ			
	目的	コロナ禍で、ICTを活用したサービスが増加するなか、性別・世代にかかわらず、ICTなどの情報活用ができ、リテラシーを身につけることを目的とする。			
	開催日時	参加人数	内 容		
	2月22日（月） 3月15日（月）	午前10:00 ～12:00	各回8人	パソコンやスマホの扱いが苦手な方を対象に、IT支援を行う。	
	参加者感想	「継続してやってほしい」「最初は不安だったが隣で教えてくれるので安心してできた」「Zoomを体験できてよかった。意外と簡単だとわかった」など、大変喜んでいただいた。			
	企画者評価 今後の課題	生活場面でのIT活用はコロナ禍の今とても必要であると考えており、継続していきたい。できれば1回に参加できる人数を増やして、必要な方に知っていただきたいが、人数が増えると参加者のレベルのバラつきも大きくなるので、講師を増やすことを検討している。			
6	NPO法人 わんだーらんど	ピーチク パーチク 話しませんcafé			
	目的	子育て中の親の孤立化防止のため、子育て中の親を対象とした居場所を提供する			
	開催日時	参加人数	内 容		
	3月5日（金）	午前10:30 ～午後1:00	1人	子育て中の悩みをひとりで抱え込まないよう、気軽に話せる空間を提供する。	
	参加者感想	日頃は仕事に追われながら子育てを頑張っている姿が想像できるほど、たくさん話をして帰られた。すっきりしたような様子で帰られたので、よかった。			
	企画者評価 今後の課題	広報期間が短く、利用者が来ないのではと思っていたが、1人でも来てくださってよかった。継続した活動とできるよう、今後の運営を検討していく。			

令和2年(2020年)度 事業実績

事業名	たそがれコンサート						
目的	市民が活動しているグループなどへ発表の場を提供するとともに、出演者や観客にローズWAM事業および男女共同参画の理解促進を目的とする。						
対象	どなたでも	場所	1階 エントランス				
定員	なし	申込数	事前申込なし				
内容	実施日時	出演者	詳細	参加数			合計
				女性	男性	子ども	
	4月	※緊急事態宣言に伴い臨時休所					
	5月						
	6月	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止					
	7月						
	8月22日(土) 午後5:30～	フルートアンサンブル 「パステル」	フルート四重奏	8	3	1	12
	9月	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止					
	10月	※空調・照明設備改修工事のため中止					
	11月8日(日) 午後4:30～	朝日 嗣雄	フルート演奏	19	17		36
	11月22日(日) 午後4:30～	The☆Oya-Co	ゴスペル	36	14		50
	12月6日(日) 午後4:30～	Mère(メール)	vocal & piano unit	17	4		21
	12月12日(土) 午後4:30～	茨木童子	フォークソング	4	4		8
	12月19日(土) 午後4:30～	ハンドベルアンサンブル 「星の雫」	ハンドベル	13	4	3	20
	1月16日(土) 午後4:30～	三品拓人・船阪駿瑛	ピアノ演奏	11	6	1	18
2月	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止						
3月27日(土) 午後4:30～	ひびきの会	大正琴演奏	25	6		31	
講座様子 ちらし	 						
評価と 今後の 改善点	今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、客席と舞台の位置を変更した。客席を広くするための対応だったが、席に座らなくても気軽に見ることができ、席に座っている人は舞台に集中しやすい配置になった。						

令和2年(2020年)度事業実績

事業名	ローズWAM事業運営協議会定例会		
目的	ローズWAMにおいて、男女共同参画社会を推進し、女性の自立と社会参加を図るため、各団体と連携しながら、男女共同参画社会推進のための諸事業を実施する。		
対象	ローズWAM事業運営協議会会員		
内容	回	日時	会議内容
	1	令和2年 6月15日(月) 午後3:00～	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度会計報告について ・ローズWAM令和2年度事業予定について ・ローズWAM事業報告 ・チャレンジ企画の選定について ・ローズWAMまつりについて
	2	令和2年 9月14日(月) 午後3:00～	<ul style="list-style-type: none"> ・ローズWAM事業報告 ・ローズWAMまつりについて ・ローズWAM20周年プロジェクトについて
	3	令和2年 11月16日(月) 午後3:00～	<ul style="list-style-type: none"> ・事業運営協議会の事業について ・次年度の行政財産目的外使用申請について ・ローズWAM事業報告 ・ローズWAMまつりについて
	4	令和3年 1月18日(月) ※書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ローズWAM事業報告 ・ローズWAMまつりについて ・緊急事態宣言に伴う対応について ・予約システムの更新について ・WAMcafeの活用状況について ・Wi-Fi環境の整備について
	5	令和2年 1月20日(月) 午後3:00～	<ul style="list-style-type: none"> ・ローズWAMの事業について ・ローズWAM事業報告(11・12月分) ・ローズWAMまつりについて ・自動販売機について ・規約変更について ・ご意見箱について ・展示について


令和2年(2020年)度事業実績

事業名	茨木市立男女共生センター登録団体連絡会			
目的	センターの設置目的に適合する活動を恒常的に行っている団体が、月に1回の定例会議で意見交換することにより、他の団体と連携しながら、男女共同参画社会推進のための諸活動することを目的とする。			
対象	茨木市立男女共生センター登録団体			
内容	回	日時	会議内容	備考
	1	4月20日(月) 午後5:00~	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
	2	5月18日(月) 午後5:00~	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
	3	6月15日(月) 午後5:00~	・登録団体活動報告 ・ローズWAM事業報告・今後の事業予定	
	4	7月20日(月) 午後5:00~	・登録団体活動報告 ・ローズWAM事業報告・今後の事業予定 ・空調・照明設備改修工事に伴う部屋利用の停止について	
		8月		
	5	9月14日(月) 午後5:00~	・登録団体活動報告 ・ローズWAM事業報告・今後の事業予定 ・ローズWAMまつりについて	
	6	10月	空調・照明設備改修工事に伴い中止	
	7	11月16日(月) 午後5:00~	・登録団体活動報告 ・ローズWAM事業報告・今後の事業予定 ・ローズWAMまつりについて ・令和3年度利用料免除団体申請について	
	8	12月21日(月) 午後5:00~	・登録団体活動報告 ・ローズWAM事業報告・今後の事業予定 ・ローズWAMまつりについて	
	9	1月18日(月) 午後5:00~	・登録団体活動報告 ・ローズWAM事業報告・今後の事業予定 ・ローズWAMまつりについて ・令和3年度利用料免除団体申請について ・予約システムの更新について	
10	2月17日(月) ※書面開催	・登録団体活動報告 ・ローズWAM事業報告・今後の事業予定 ・ローズWAMまつり中止についての報告		
11	3月16日(月) 午後5:00~	・登録団体活動報告 ・ローズWAM事業報告・今後の事業予定 ・予約システムの更新について ・Wi-Fi環境の整備について ・ローズWAM20周年に伴う登録団体への感謝状贈呈		

6. 職員研修

事業名	実施日	講師等	参加人数
職員全体研修会	1月26日	Marble Innovation 代表 松尾 久美子さん	86人

令和2年(2020年)度事業実績

事業名	職員研修 「自治体組織の一員としての意識の再確認」				
目的	公務員としての立場を理解し、公平公正な事務に努めることを目的とする。				
対象	茨木市ローズWAM会計年度任用職員				
受講定員	101名	申込数	—	参加数	86名
充足率	85%	受講者満足度	88%	新規受講者率	—
内容	実施日時・場所	詳細		講師名	
	令和3年 1月26日(火) 午前9:30~11:00 ワムホール	1、クレームを未然に防ぐ ・マナーブックの再確認 ・公務員に課せられている義務の確認 2、公務員としての行動を確認&振り返り ・ケーススタディ 3、まとめ		Marble Innovation 代表 松尾 久美子	
アンケート結果	【大変良かった 41 よかった 23 普通 6 あまりよくなかった 2 無回答 1】 【大いに活かせる 40 活かせる 31 あまり活かさない 2】 ・職員であるという自覚を持ち、言動に注意していく必要があると思った。 ・一年に一度、改めて基本に立ち返り、身を正す・引き締める機会となり、学んだことを大切に心がけていこうと思う。 ・市民のための仕事をしている自覚を持ち、自分も成長できるような仕事をしていきたい。 ・今まで曖昧だったやっではいけないことがはっきりわかって、今後の言動に活かせる。 ・業務中の注意点が例題で場面ごとによくわかったので、次回から注意できると思います。 ・今後の自分の言動について、第三者的立場から考えられるよう、心掛けたい。 ・来館者やスタッフ同士で感謝を伝えるようにすれば、円滑に仕事ができるとわかりました。 ・自分の言動に責任を持ち、わからないことは確認しながら対応する。 ・市民の方とお話をしたりローズWAMの運営のお手伝いができれば…と働き始めたのに、仕事を覚えることに精一杯で、色々疎かになっていました。改めて意識しようと思います。				
	回収数	73 枚			
研修資料等	 <p>研修資料の表紙には「自治体職員の一員としての意識の再確認」と題し、2021年1月26日(火)開催と記載されています。写真には研修中の様子とスクリーンショットが掲載されています。</p>				
評価と今後の改善点	アンケート結果より、研修の狙いの一つである「業務中の言動を省みる」ことについては、多くの方が思い至ったことが判る。今回は、具体例を数多く出すことでイメージを浮かび易くするような内容とし、受講者には、日々の業務のなかで自らの言動にチェックを掛けられるようになっていけたらと思う。その一方で、全体の約1割が連絡なく欠席しており、さらに今回の研修の意図を理解されていない方もいたので、今後も繰り返し研修を行っていく必要性があると感じた。				